

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 2 月 28 日

事業所名 Pastel Color

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			
	2	職員の配置数は適切である	5	3	送迎時に指導員一名で対応できる設備を整えている。	時間帯によって手薄になる。職員のシフトの見直し人員配置を行って改善していく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	1		換気が不十分に感じることがある為、定期的な空気の入替えをするよう共有した。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1		PDCAのうちフィードバックに関してはパート職員を含めると十分に行われていない。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	5		自己評価結果の公開場所を周知不足な所があった。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	7		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1		
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	1		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	5		アセスメントツールについての認識が足りていない職員がいた為、会議にて共有した。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	1		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	8			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	1		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6	2		該当者なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5	3		該当者なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	3		不十分な箇所がある為、今後各機関との密な連携をアプローチしていきたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	3		児発管が行っている為、職員全員の認識が足りていなかった、会議にて共有した。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		8		現在施設としての機会を作る事が難しい。しかし、園に通えない児童が現在いない為、園での交流がある。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	7		現在参加していない。今後参加していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	5		保護者・家族支援は行っているが、プログラムとしては不十分な点がある為、改善していく。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		8		現在行う事が出来ていない為、しっかりと計画していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	4		ブログや情報共有をしっかりと発信しているが、会報はない。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		絵カードやサインなど視覚支援を必要に応じて取り入れている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	7		今後検討していきたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	3		対応をしているが、保護者様のヒアリングにて対応している。医師の指示書をもらうよう働きかけていく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		事故報告・ヒヤリハットを確実に作成すると共に保護者様への共有をしっかりとおこなっている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

## 事業所職員向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	1		児童が動き回るうえで、衝突転倒等の負傷事故が無いよう配慮されている。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	1	2	手薄になる時間があるため、職員間で連携を図りながら、危険が無いように対応している。送迎時に添乗員を配置が難しい。しかし、職員の増員により改善している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	2		
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7		1	PDCAのうちフィードバックに関してはパート職員を含めると十分に行われていない。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	3		パート職員を含めると周知が出来ていない所がある為、改善していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	3	2	自己評価結果の公開場所を周知不足な所があった。会議にて共有をおこなった。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	4	3	第三者を現在採用していない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1	1	外部機関と連携して、定期的にオンデマンド研修が行われている。
適切	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1	4	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	0	定員の構成が頻繁に変わるが、都度現場で職員同士が確認しあい柔軟に支援プログラムを修正できている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8			

な 支 援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	8			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	2		
	22	（医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合）子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	4	1	該当者なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7		1	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	2	1	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	2	1	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	2	6	今後交流できる場を作っていきたい。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	1	6	積極的に参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1		
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	5	1		

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			3	5	現在行う事が出来ていない為、しっかりと計画していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	2			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1	3		ブログや情報共有をしっかりと発信しているが、会報はない。
	35	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	8				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8				絵カード、サイン等の視覚支援を可能な範囲で行っているが、今後より深い理解と活用ができるように体制を整えていきたい。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	4	2		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	7	1			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5			3	対応をしているが、保護者様のヒアリングにて対応している。医師の指示書をもらうよう働きかけていく。

	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			
--	----	----------------------------	---	--	--	--